

2020年度 神戸ベルエベル美容専門学校
トータルビューティ科ビューティアドバイザーコース カリキュラム

科目		1年次	2年次	1年2年計	実務経験者が 行う授業	
必修科目	メイク	メイク理論	25	0	25	○
		化粧品知識	12	64	76	○
		パーソナルカラー	0	48	48	×
		接客販売心理学	34	0	34	×
		トータルメイク	480	297	777	○
		百貨店講習	0	6	6	×
		カウンセリング	3	17	20	×
	計	554	432	986	-	
	実践	特別授業	6	4	10	×
		サロン	2	336	338	×
	※コース 選択 (エステ)	エステ理論	72	35	107	×
		フェイシャル	60	22	82	×
		ボディ	64	22	86	×
		脱毛	0	3	3	×
		サロン	0	22	22	×
	計	196	104	300	-	
	※コース 選択 (ネイル)	ネイル理論	16	6	22	×
		ケアカラー	150	0	150	×
		ジェル	30	76	106	×
		サロン	0	22	22	×
	計	196	104	300	-	
	選択科目	HR	293	289	582	×
		マナー	56	20	76	×
		就職	57	3	60	×
		1年生研修	30	0	30	×
	合計		1194	1188	2382	

※コース選択はエステ・ネイルのどちらかを選択。

基本情報			
講義名	メイク(メイク理論)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	25	0	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
美容部員・メイクアップアーティスト・美容師	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、百貨店・メイク専門店・美容室・ブライダルサロン等にて、美容部員・メイクアップアーティスト・美容師等のメイクに関する実務経験が3年以上あるものが当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	化粧品についての知識、皮膚の構造、メイクアップデザインやスキンケア理論の授業を実技授業との連動性を持たせより実践的に行い、検定取得対策も実施する。 技術力の向上、就職後の接客技術、カウンセリング技術にも応用できる授業を行う。
授業の到達目標	メイク技術及び接客技術の実践で活かせる、化粧品・メイク理論・皮膚、骨格・色に関する正確な知識及びメイクアップデザイン理論を学び習得することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
ベーシックセオリー スキンケアコンセプト	1	・化粧品の定義、スキンケアの必要性、化粧品の名称、用途、特徴と取り扱いの理解 ・3ステップによるスキンケアシステム
皮膚知識 スキンケアテクニック	2	・皮膚の構造と働き ・スキンケアテクニックの役割、順序、実技用具ポイント
クレンジング	3	・ポイントクレンジング(リップクレンジング、アイメイククレンジング) ・ベースクレンジング(オイル塗布、オイルの乳化、拭き取り)
トーンング	2	・ローショントーンング ・クリームトーンング
アンダーベース	1	・板書、手技、手順、注意点、テクニックの提示
ファンデーション、コン シーラー、パウダー	1	・板書、手技、手順、注意点
ハイライト・ローライト	1	・ノーズシャドー、アイシャドー、ハイライト(板書、手技、手順、注意点) ・確認テスト 20分 (ベーシックセオリー～ローライトまで)
ポイントメイクアップ	1	・リップ、アイシャドー、アイライン、アイラッシュ、アイブロー、チーク、 ・ハードフォーミュラの削り方
メイクアップデザイン	10	・カラー/色の三属性、トーン、配色、カラーカウンセリング ・シェイプ、マテリアル/形とイメージ、質感、コーディネート ・デザインシート記入(注意点の説明、言葉の表現、色の付け方) デザインシート作成(プリティアー、グラマラス、マニッシュ、フェミニン) ・確認テスト(相モデル)
メイクアップ	1	・確認テスト(筆記)
検定対策	2	・検定筆記対策

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	メイク(化粧品知識)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	12	64	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
美容部員・メイクアップアーティスト・美容師	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、百貨店・メイク専門店・美容室・ブライダルサロン等にて、美容部員・メイクアップアーティスト・美容師等のメイクに関する実務経験が3年以上あるものが当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	化粧品に関する成分・効果・使用方法やアレルギーに関する知識や歴史等基礎的な知識を熟知するだけでなく、授業の中でその知識を接客で活かせるカウンセリング技術に応用するまでが授業内容となっている。日本化粧品検定の対策も行う。
授業の到達目標	化粧品の知識、販売方法アレルギーへの対応、カウンセリングに関する知識をメイクアップ技術、カウンセリング技術に応用できるレベルへの到達を目標とする。 また、取得資格として日本化粧品検定合格を目指し、合格レベルへの到達を目標とする。

No.	具体的内容	
	項目	内容
ブランド歴史、哲学	1	・ブランドビジョン、歴史、ブランド哲学、ルーツについて
皮膚の構造	1	・皮膚の構造、筋肉、骨格について
化粧品の定義	1	・化粧品の定義、分類について
スキンケアコンセプト	1	・スキンケアコンセプト、スキンケア実技について
ポイントメイククレンジング	1	・ポイントメイククレンジングについて(リップ、アイシャドウ)
ベースメイククレンジング	1	・ベースメイククレンジングについて(オイル塗布、ふき取り)
スキンケア	1	・スキンケアについて(ローショントーン、クリームトーン)
メイクアップコンセプト	1	・メイクアップコンセプト、テクニックについて(ベース、ポイントメイク)
ハイライト ローライト	1	・ノーズシャドウ、アイシャドウ、ハイライト(板書、手技、手順、注意点説明) ・確認テスト
商品知識	6	・ベーシックセット内のアイテムの効果、成分の説明 ・スキンケア商品(クレンジングオイル、スキンケア、パーフェクターオイル、ミスト)の ・商品知識、成分、効果、値段、使用方法 ・確認テスト
フレグランス	1	・フレグランスの歴史、種類、特徴、香り立ちの違い
アンチエイジング	1	・アンチエイジングメイクのカウンセリング、アドバイス
アレルギー対応	1	・アレルギー対応の一般例
日本化粧品検定 対策	58	<ul style="list-style-type: none"> ・日本化粧品検定についての説明 ・クレンジングの基本、洗顔の基本 ・化粧水の基礎知識、美容液について知る ・勘違いしがちな肌悩みの対処法、お手入れの基本手順 ・スキンケアに関する素朴な疑問、日焼け止めの基本 ・メイクアップの基本、まつ毛ケアのための基礎知識 ・ボディケアの基本を学ぶ、ヘアケアの基本 ・手や爪の特徴を学ぶ、皮膚のしくみと働き ・表皮の構造としくみ、基底膜について、真皮のしくみ、皮膚の機能 ・肌タイプと見分け方、季節と肌 ・乾燥、ニキビ、毛穴、シミ、くすみ、くま、しわ、たるみ ・一般的なメイクアップの手順、赤ら顔をカバーしたい ・外的要因、内的要因 ・肌に影響する紫外線の種類、サンケア指数 ・効果的なマッサージの必要性正と方法 ・検定対策

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	メイク(パーソナルカラー)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	0	48	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	メイクアップにおいて重要な色に関する知識を学ぶ。似合う色の根拠を把握し、目的に応じた色の演出効果を理解することで、お客様一人一人の似合う色の提案をできるような技術を当該授業にて身に付ける。検定取得対策も実施する。
授業の到達目標	メイクの技術や接客において重要な色の知識を学ぶことにより一人一人に似合う色が分かるようになること、その知識をメイクにおけるカウンセリング技術に応用できるレベルになることを目標とする。 また、検定合格レベルの到達も目標とする。

No.	具体的内容	
	項目	内容
基礎学科①	12	パーソナルカラーとは何か:板書、解説 色が見える光の条件:板書、解説 色が見える物体の条件:板書、解説 色が見える視覚の条件:板書、解説 色の基礎知識 色の三属性:板書、解説 PCCS表色系について トーン表の作成 色の基礎知識 清色と濁色:板書、解説 色の属性の見極めレッスン
実技基礎	12	パーソナルカラー分析の考え方 色の属性が肌に与える影響:板書 ドレーピングとは(解説) ドレーピングのやり方(デモ) カラー診断の実習 フォーシーズン見本帳の作成 フォーシーズンの色の解説 フォーシーズンの特徴の解説 フォーシーズンのヘアメイクカラー
基礎学科②	3	色彩調和論(人名、説の解説と板書、ライン引き) 基本の配色方法:色相配色 基本の配色方法:トーン配色
実技	3	色相、トーン配色の演習 配色技法の演習
復習	6	復習プリント実施(問題の解答と解説)
模擬試験	12	模擬試験、過去問題 模擬試験、過去問題答え合わせ・解説 総まとめ

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	メイク(接客販売心理学)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	34	0	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	接客心理検定3級・準2級取得に向け、顧客心理を知り、卒業後にすぐに役に立つ販売知識を学ぶ
授業の到達目標	接客心理検定取得

具体的内容		
項目	時間数	内容
オリエンテーション	1	授業の意義目的、授業を受けるにあたっての約束
接客心理とは	1	講師による接客デモンストレーション、接客心理の内容説明、接客心理検定について
ロールプレイング	1	ボディランゲージ、挨拶・笑顔・言葉使い等の説明
コミュニケーション テクニック	6	お客様の心理状況の理解(錯覚・楽な方法をとる心理状況・歪みなど) 実例からの心理状況分析 グループワーク(接客の距離と接客トーク・ラポールの練習) お客様の心理状況の理解(錯覚・楽な方法をとる心理状況・歪みなど) 実例からの心理状況分析、グループワーク(接客の距離と接客トーク・ラポールの練習) 実例からの心理状況分析、グループワーク
情報とコミュニケーション の区分	4	メール、SNS等の非対面コミュニケーションと対面コミュニケーションの情報伝達量、伝達度の違いの理解 接客が最高級スキルであることの証し、満足度と感動を与えることの理解 談話能力・社会言語能力の理解度、コミュニケーションを戦略的に使う接客方法 グループワーク(ロジカルな文章、イメージ文章、グローバル文章とパーソナル文章の作成)
筆記	2	知識の確認
商品属性の研修	6	商品属性の必要性・商品属性名と属性値、トレンド便乗の手法の理解 グループワーク(トレンド商品、属性値、イメージ分析) グループ発表 属性値が創造されるメカニズム、クレームに含まれる属性値と商品改善 お客様の認知とバイアス(歪み)の理解 グループワーク (売れ筋のイメージの絞り込み、類似商品の属性値、新しい属性値創造キャッチコピー作成) 誤解、錯覚、思い込み、バーナム効果
練習問題	1	練習問題を解く(知識の確認)
ブランドを立ち上げる	1	グループワーク(コラージュ作成・修正)
トータル	11	実技試験シュミレーション、確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	メイク(トータルメイク)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	480	297	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
美容部員・メイクアップアーティスト・美容師	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、百貨店・メイク専門店・美容室・ブライダルサロン等にて、美容部員・メイクアップアーティスト・美容師等のメイクに関する実務経験が3年以上あるものが当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	メイクに関する一連の技術(スキンケア、クレンジング、メイクアップ)を学ぶ。一般的な基礎技術はもちろんのこと、世代別のメイク、TPOに合わせたメイク技術、舞台メイク等を学ぶ機会を与え、メイクに対する興味を深めそのことにより技術の幅を広げる授業を実施する。 検定の検定取得対策も実施する。
授業の到達目標	スキンケア、クレンジング、ベース～ポイントメイクの習得や、お客様一人一人にあったメイク、それぞれのシーンにあったメイクの提案をしそれを具現化できるところまで完結できる、より実践的な技術レベルへの到達を目標とする。 また、検定の取得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
技術者としての身だしなみ	1	<ul style="list-style-type: none"> 技術者としての心得を理解、意識付け 姿勢、身だしなみについて
セッティング	6	<ul style="list-style-type: none"> 道具の名前シール貼り(シールを用意させ、貼らせる) セッティング説明、並べてみる(最終15分以内完成) 相モデルにてセッティングシェーブをかける、ダッカールで髪止める、立ち位置、姿勢 セッティング、姿勢、身だしなみの復習 確認テスト セッティング15分タイム取り
スキンケアテクニック	23	<ul style="list-style-type: none"> リップクレンジングのテクニック展示(ウィッグにて) リップクレンジングテクニックレッスン(ウィッグにて) アイメイククレンジングのテクニック展示(ウィッグにて) アイメイククレンジングのテクニックレッスン(ウィッグにて) リップ、アイメイククレンジングのテクニックレッスン(相モデル) ベースクレンジングテクニック展示(ウィッグにて)ポイント箇所を説明、アイペンシルで描く ベースクレンジングの流れのテクニックレッスン(ウィッグにて) オイルの乳化テクニックの展示(ウィッグにて) オイル乳化のテクニックレッスン(ウィッグにて) 拭き取りテクニックの展示(ウィッグにて) 拭き取りのテクニックレッスン(ウィッグにて) ウィッグにてベースクレンジング、乳化、拭き取りレッスン(タイム取りなし、手技の徹底) 相モデルにてベースクレンジング、乳化、拭き取りレッスン(タイム取りなし、手技の徹底) ローショントナーテクニックの展示(ウィッグにてテクニックのポイント手順を把握する) 相モデルにてレッスン(タイム取りなし、手技の徹底) クリームトナー、ティッシュオフテクニックの展示(ウィッグにて) 相モデルにてレッスン、クリームトナー～ティッシュオフ(タイム取りなし、手技の徹底) ポイントクレンジング～クリームトナーを相モデルにて20分タイム取り 確認テストポイントクレンジング～ティッシュオフまで20分タイム取り

具体的内容		
項目	時間	内 容
メイクアップテクニック	51	<ul style="list-style-type: none"> ・アンダーベース(ウィッグにて展示・レッスン) ・ファンデーションテクニック(ウィッグにて展示・レッスン) ・フェイスパウダー(ウィッグにて展示・レッスン) ・アンダーベース～フェイスパウダー(相モデルレッスン) ・ノーズシャドーのフィンガーワーク、手順、テクニックの説明と展示、ウィッグでレッスン ・アイシャドーのフィンガーワーク、手順、テクニックの説明と展示、相モデルにてレッスン ・ハイライトのフィンガーワーク、手順、テクニックの説明と展示、相モデルにてレッスン ・ポイントクレンジング～ハイライトまで通しレッスン(相モデル40分タイム取り) ・確認テスト(ポイントクレンジング～ハイライトまで(相モデル40分タイム取り)) ・リップブラシ(持ち方、手順、テクニックの説明、展示)(テクニック、相モデルにてレッスン) ・アイシャドー(持ち方、手順)(テクニックの説明、展示、相モデルにてレッスン) ・アイラインペンシル(持ち方、手順、テクニックの説明、展示)(相モデルレッスン) ・アイラッシュカーラー(使い方、持ち方、マスカラの塗り方、テクニックの展示) ・アイブロー(ハードフォーミュラーの削り方説明)(テクニックの展示・説明)(相モデルレッスン) ・チークメイクアップ(入れる場所の理解、ブラシの持ち方、描き方説明)(相モデルレッスン) ・チーク、相モデルレッスン ・リップ、アイシャドー、アイライン、アイラッシュカーラー、マスカラ、チーク(20分相モデル) ・確認テスト ・クレンジング～スキンケア、ベース～フルメイク相モデルレッスン
リタッチ	2	<ul style="list-style-type: none"> ・リタッチテクニックの展示 ・リタッチ 相モデルレッスン
メイクアップデザイン ・カラー	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントメイクアップ配色実習相モデル(ハーモニー)(コントラスト)(アクセント)
メイクアップデザイン ・シェイプ	24	<ul style="list-style-type: none"> ・リップの要素(形:テクニックの説明、展示)リップの実習(形の作り方) ・アイブローの要素(形、色)テクニックの説明、展示 ・アイブローの実習(形、描き方、グラデーションの作り方) ・アイシャドーの要素(形、色)テクニックの説明、展示 ・アイシャドーの実習(入れる場所の理解、形、グラデーションの作り方) ・アイラインの要素(形)テクニックの説明・アイラッシュの要素の説明、展示 ・アイライン、アイラッシュの実習(入れる場所の理解、形の作り方) ・チークの要素(形、色)テクニックの説明、展示 ・チークの実習(入れる場所の理解、形グラデーションの作り方)
カラーカウンセリング	11	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルの肌色からカラーベースを判断しカラーを決定。手順、テクニックの説明、展示 ・モデルの肌色からカラーベースを判断し相モデルレッスン 確認テスト ・モデルの肌色からカラーベースを判断し相モデル(スキンケア10分、カラーカウンセリング10分カラーカウンセリングメイクアップテクニック40分)
検定対策	14	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルの肌色からカラーベースを判断し相モデルレッスン(スキンケア10分、カラーカウンセリング10分カラーカウンセリングメイクアップテクニック40分)
トレンド①	18	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のトレンド説明、デモ ・相モデルレッスン(スキンケア10分、フルメイク40分)チェック
応用メイク①	5	<ul style="list-style-type: none"> ・模写メイク説明、デモ ・相モデルレッスン(スキンケア10分、フルメイク40分)チェック
検定内容①	28	<ul style="list-style-type: none"> ・「プリティ」手技、テクニックの説明、展示、フルメイク40分相モデルレッスン ・「グラマラス」手技、テクニックの説明、展示、フルメイク40分相モデルレッスン ・「フェミニン」手技、テクニックの説明、展示、フルメイク40分相モデルレッスン ・「マニッシュ」手技、テクニックの説明、展示、フルメイク40分相モデルレッスン ・確認テスト クレンジング10分～フルメイク40分(イメージ1つ選択)
検定内容②	44	<ul style="list-style-type: none"> ・「プリティ」メイクにおけるイメージ説明、デザイン画作成 「プリティ」メイクにおけるベースメイクの説明、デモ、相モデル ・「グラマラス」メイクにおけるイメージ説明、デザイン画作成 「グラマラス」メイクの説明、デモ、相モデル ・「フェミニン」メイクにおけるイメージ説明、デザイン画作成 「フェミニン」メイクの説明、デモ、相モデル ・「マニッシュ」メイクにおけるイメージ説明、デザイン画作成 「マニッシュ」メイクの説明、デモ、相モデル

具体的内容		
項目	時間	内 容
検定内容③	21	・イメージ別メイク モデルに合ったイメージを選ぶ
トレンド②	22	・シーズンビジュアルメイク模写、説明・デモ 相モデルレッスン(スキンケア、フルメイク)
ベーシックメイク	2	・パーツ毎のイメージをより詳しく掴む
検定内容④	15	・スキンケア強化(相モデルレッスン、ポイントの確認とタイム取り) ・モデルの肌色からカラーベースを判断し相モデルレッスン スキンケア、カラーカウンセリング、カラーカウンセリングメイクアップテクニック
検定内容⑤	48	・「キュート」メイクにおけるイメージ説明、デザイン画作成 「キュート」メイクにおけるベースメイクの説明、デモ、相モデル ・「エレガント」メイクにおけるイメージ説明、デザイン画作成 「エレガント」メイクの説明、デモ、相モデル ・「フレッシュ」メイクにおけるイメージ説明、デザイン画作成 「フレッシュ」メイクの説明、デモ、相モデル ・「クール」メイクにおけるイメージ説明、デザイン画作成 「クール」メイクの説明、デモ、相モデル ・確認テスト イメージ別メイク モデルに合ったイメージを選ぶ
検定対策	18	・復習、確認
シーズンメイク	44	・「スプリング」メイクにおけるイメージ説明、カラーージュ作成、デザイン画作成、メイク説明、デモ 相モデル(ベース～フルメイクメイクテクニック) ・「サマー」メイクにおけるイメージ説明、カラーージュ作成、デザイン画作成、説明、デモ 相モデル(ベース～フルメイクメイクテクニック) ・「オータム」メイクにおけるイメージ説明、カラーージュ作成、デザイン画作成、説明、デモ 相モデル(ベース～フルメイクメイクテクニック) ・「ウインター」メイクにおけるイメージ説明、カラーージュ作成、デザイン画作成、説明、デモ 相モデル(ベース～フルメイクメイクテクニック) ・確認テスト(シチュエーションメイク:モデルに合わせテーマを1つ選択する)
外国人風メイク①	12	・「外国人風」メイクにおける説明、デモ ・「外国人風」メイクにおける相モデル実習・確認、チェック、修正
トレンド②	52	・現在のトレンド特徴説明、デモ ・相モデルレッスン(確認、チェック、修正、化粧水～フルメイク)
模写メイク	12	・模写メイク説明、デモ ・相モデルレッスン(クレンジング～フルメイク 確認、チェック、修正)
似合わせメイク	20	・似合わせメイク説明、デモ(相モデルの顔を見て、似合うメイクを提案) ・相モデルレッスン(クレンジング～フルメイク 確認、チェック、修正)
応用メイク②	13	・サロンで使用する商品を実際に使用しフルメイクを行うデモ ・相モデルレッスン(クレンジング～フルメイク 確認、チェック、修正)
世代別メイク	6	・「30・40代」メイク ベースメイクの説明、デモ、相モデル実習・確認、チェック、修正 ・「50.60代」メイク ベースメイクの説明、デモ、相モデル実習、確認、チェック、修正
舞台メイク(キャッツ)	38	・特徴説明、デモンストレーション ・相モデル実習、確認、チェック、修正、キャッツメイクに応用デザイン作成 ・キャッツ応用デザインメイク(相モデル実習、確認、チェック、修正)
舞台メイク(宝塚)	39	・宝塚メイクにおける特徴説明映像鑑賞 ・宝塚女優メイクにおけるアイブロウ・アイシャドウ・アイライン・アイラッシュリップ・チークのデモ ・宝塚女優メイクにおけるベース・アイシャドウ・アイブロウ・アイライン・アイラッシュ・リップ・チークの 相モデル実習 確認・チェック修正 ・宝塚男役メイクにおけるアイブロウ・アイシャドウ・アイライン・アイラッシュリップ・チークのデモ ・宝塚男役メイクにおけるベース・アイシャドウ・アイブロウ・アイライン・アイラッシュ・リップ・チークの 相モデル実習 確認・チェック修正 ・確認テスト ベース～フルメイク
外国人風メイク②	30	・「外国人風」メイクにおける説明、デモ ・「外国人風」メイクにおける相モデル実習・確認、チェック、修正

具体的内容		
項目	時間	内 容
年代別メイク	120	<ul style="list-style-type: none"> ・1990年代メイク 特徴説明(コンサバメイク)デモンストレーション 相モデル実習・確認、チェック、修正、化粧水～フルメイク ・1980年代メイク 特徴説明(バブルメイク)デモンストレーション 相モデル実習・確認、チェック、修正、化粧水～フルメイク ・1960年代メイク 特徴説明(ツイッギー)デモンストレーション 相モデル実習・確認、チェック、修正、化粧水～フルメイク 確認テスト:1960年代化粧水～フルメイク ・1950年代メイク 特徴説明(オードリー、マリリンモンロー)デモンストレーション 相モデル実習・確認、チェック、修正、化粧水～フルメイク、模写メイク 確認テスト:1950年代化粧水～フルメイク ・現在のトレンド 特徴説明デモンストレーション 相モデル実習・確認、チェック、修正、化粧水～フルメイク
作品作り	15	<ul style="list-style-type: none"> ・目的説明 ・コンセプト企画、フェイスシート作成 ・相モデル実習 ・作品制作
模写メイク	13	<ul style="list-style-type: none"> ・模写メイク説明・デモ ・相モデル実習(確認、チェック、修正、化粧水～フルメイク)
成績		
成績評価の方法・基準		出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	百貨店講習	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	0	6	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	現場の接客・販売の体験
授業の到達目標	現場の接客・販売の体験によるスキル向上

具体的内容		
項目	時間数	内容
百貨店講習	6	現場の接客・販売体験

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	メイク(カウンセリング)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	3	17	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	メイク技術だけでなく、お客様が何を求められているかをヒアリングする力を養う。
授業の到達目標	カウンセリング知識の習得

具体的内容		
項目	時間	内容
説明・体験	3	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングの目的、基本理解、カウンセリングシート内容 ・カウンセリングの注意点、手順 ・カウンセリングシートの内容説明 ・相モデルで実践
聞き取り	3	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の悩み、希望、理想を聞き取る。 ・相モデルで実践
提案	3	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の悩みや希望に合ったスキンケアとメイクを提案。 ・相モデルで実践
クロージング	3	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチアップ終了後のクロージング、お客様が購入しやすいように導く ・相モデルで実践
復習	2	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の流れを再確認
シミュレーション	6	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン実習を想定し相モデルで実践

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	実践(特別授業)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	6	4	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	OBOGセミナー、SNSブランディング
授業の到達目標	就職活動への意欲向上、社会人に向けての意識の切り替え、SNSの正しい使い方の理解

具体的内容		
項目	時間数	内容
OBOGセミナー	6	OBOGによる講義
SNSブランディング	4	SNSの効果的な使い方、正しい使い方

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	実践(サロン)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実習	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	2	336	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	自コースのサロン実習の授業を行う。 必修科目で学ぶメイク技術、カウンセリング力をサロン実習で向上させる。
授業の到達目標	卒業後、就職先にて即戦力として働ける接客力・技術力を身に付けること、店舗の運営全般について理解することを目標とする。

No.	具体的内容	
	項目	内容
サロン説明	9	サロン実習の概要説明 メイク・エステ・ネイルコースごとのサロン内容説明
サロン基礎	10	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン概要説明 ・オープンからクローズまでの1日の流れの理解 ・身だしなみ、挨拶、接客用語、立ち居振る舞い ・売上目標、入客目標、店販売上の理解 ・受付表、伝票などの書類の書き方 ・レジの使用方 ・カウンセリングシート、メニュー内容、時間、金額の理解 ・お出迎え、お見送りの仕方 ・電話の出方(ロールプレイングの実施) ・PC入力方法
カウンセリング基礎	12	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の状況に合わせた提案の仕方 ・理論に基づいた提案の仕方→単価アップ ・効果的な来店ペースの促し方→客数アップ ・効果的なホームケアアドバイス →効果の持続、店販売上アップ ・ロールプレイング ～来店→技術→退店～ ・ロールプレイング ～商品販売の仕方～
カウンセリング応用	14	<ul style="list-style-type: none"> ・店販商品の知識と理解 ・ロールプレイング ～来店→技術→退店～ ・ロールプレイング ～商品販売の仕方～ ・ビフォーアフター、アフターカウンセリング →次回の予約に繋げる ・プラスワンメニューの提案 →客単価をアップ ・ロールプレイング ～ビフォーアフター、アフターカウンセリング～ ・ロールプレイング ～プラスワンメニュー、商品販売の提案～

No.	具体的内容	
	項目	内容
接客応用	4	<ul style="list-style-type: none"> ・各自問題を解く ・グループで自身の回答の発表をし合いグループで1つの回答を作る ・グループの回答発表 ・教員から模範解答 ・クレーム対応マニュアル解説
シミュレーション	27	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン実習シミュレーション ・確認テスト
プレサロン	12	<ul style="list-style-type: none"> ・友人や他学年をお客様としサロン実習の実施
プレサロン改善会議	16	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンの数字分析 ・成功の共有 ・問題抽出、原因分析、改善方法の決定
サロン実習	198	<ul style="list-style-type: none"> ・運営の仕組みの理解、数字への意識 ・お客様への気配り、接客力 ・振り返り、レポート作成等
サロン改善会議	36	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンの数字分析 ・成功の共有 ・問題抽出、原因分析、改善方法の決定

成績

成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。
------------	---

基本情報			
講義名	コース選択エステ(エステ理論)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	72	35	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	エステティックに必要な基礎的な知識・理論を学ぶ。エステの歴史や皮膚科学、栄養学、化粧品学、救急法、カウンセリング技術、サロンマネジメント等を学び技術や接客において実践的に活かせる知識を得られる授業を実施する。
授業の到達目標	エステティックの知識・理論を理解し、それをエステ技術や接客、サロンマネジメントにまで活かせるレベルに到達することを目標とする。 また、取得資格合格レベルの知識の理解と習得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
概要	1	説明、検定の概要
エステティック概論の理解	2	エステティックとは、エステティックの歴史と現状、エステティックの展望の解説と板書 確認テスト
セルフケア ホームケア	2	セルフケア・ホームケアについて(ボディ編、フェイシャル編)
皮膚科学	14	皮膚の構造の解説と板書、例題集実施、解答・解説 皮膚の生理機能美しい肌のための解説と板書、例題集実施、解答・解説 肌の老化とケアの解説と板書、例題集実施、解答・解説 トラブル肌と皮膚疾患の解説と板書、例題集実施、解答・解説 確認テスト
栄養学	10	栄養学の基礎知識の解説と板書、例題集実施、解答・解説 「何をどう食べるか」を知るための解説と板書、例題集実施、解答・解説 食品パワーの新しい可能性とその利用の解説と板書、例題集実施、解答・解説 確認テスト
化粧品学	8	化粧品の定義と役割基礎化粧品の解説と板書、例題集実施、解答・解説 メイクアップ化粧品ボディケア化粧品の解説と板書、例題集実施、解答・解説 頭髪頭皮用化粧品芳香化粧品の解説と板書、例題集実施、解答・解説 化粧品の原料の解説と板書、例題集実施、解答・解説 確認テスト
サロンでの救急法 サロンでの衛生・消毒	10	救急法の基礎知識の解説と板書、例題集実施、解答・解説 ※心肺蘇生法と止血法は実技で行う 主な症状の手当と病気主な事故・けがの手当の解説と板書、例題集実施、解答・解説 公衆衛生 病原微生物 感染症の解説と板書、例題集実施、解答・解説 感染症の解説と板書、例題集実施、解答・解説 エステティックにおける消毒・滅菌の解説と板書、例題集実施、解答・解説 確認テスト
エステティック カウンセリング	4	エステティックカウンセリングとはエステティックカウンセリングの基本の解説と板書 例題集実施、解答・解説 カウンセリングの実施の解説と板書、例題集実施、解答・解説
サロン マネジメント	4	エステティック業の倫理、エステティックビジネスの環境と展望 マーケティング、サロン運営の解説と板書 サロン繁栄のための顧客管理、サロン繁栄のための技術管理の解説と板書 、例題集実施、解答・解説 確認テスト

具体的内容		
項目	時間	内 容
解剖生理学	17	人体のあらまし、細胞・組織・器官、免疫の解説と板書、例題集実施、解答・解説 骨格系、筋系の解説と板書、例題集実施、解答・解説 神経系、感覚器系の解説と板書、例題集実施、解答・解説 消化器系、呼吸器系の解説と板書、例題集実施、解答・解説 循環器系、血液の解説と板書、例題集実施、解答・解説 内分泌系、泌尿器系、生殖器系の解説と板書、例題集実施、解答・解説 確認テスト
心身生理学	5	脳神経の構造と働き、ホメオスタシスの解説と板書、例題集実施、解答・解説 ストレス、心と肥満の関り、スキンタッチの効果の解説と板書、例題集実施、解答・解説 確認テスト
運動生理学	4	運動の必要性、筋肉・呼吸器・循環器と運動の解説と板書、例題集実施、解答・解説 代謝と運動、運動処方、運動の実際の解説と板書、例題集実施、解答・解説 確認テスト
エステティック 電気学・機器学	6	電気学の基礎、電気と人体の解説と板書、例題集実施、解答・解説 エステティック機器の種類と原理、エステティック機器の活用の解説と板書、例題集実施、解答・解説 確認テスト
エステティック 関連法規	6	エステティック契約の関連法規の解説と板書、例題集実施、解答・解説 エステティシヤンの仕事と法律、クレーム処理と関連法規、エステティック業界の自主基準の 解説と板書・プリント配布、例題集実施、解答・解説 確認テスト
検定対策	14	フェイシャル実技理論の例題集を解かせ、解答・解説 ボディ実技理論の例題集を解かせ、解答・解説 ワックス脱毛実技理論の例題集を解かせ、解答・解説 皮膚科学の例題集を解かせ、解答・解説 栄養学、化粧品学、サロンマネジメント、エステティックカウンセリングの例題集を解かせ、解答・ 解説 解剖生理学の例題集を解かせ、解答・解説 AEA例題集に沿った解説 確認テスト

成績

成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出 等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以 上であることを履修認定の基準とする。
------------	---

基本情報			
講義名	コース選択エステ(フェイシャル)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	60	22	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	フェイシャルエステティックにおける、カウンセリング技術や基本的なフェイシャルエステ技術、使用する機器の効果や安全な使用方法を学ぶ。 また、検定対策も授業の中で取り入れている。
授業の到達目標	カウンセリング・化粧品・肌別の対応知識の理解と習得、使用する機器を正しく扱えること・その効果や安全に使用方法の理解を習得することを目標とする。 検定合格レベルの技術の理解と習得。

具体的内容		
項目	時間	内容
フェイシャル カウンセリング①	2	・肌質・体質判断、アドバイスを行う カウンセリングの注意点、手順の説明、相モデルで実際に行う
・ポイントクレンジング ・クレンジングマッサージ ・スポンジ ・ホットタオル	8	・クレンジングの手技を理解・覚える ・ポイントクレンジング、クレンジングの注意点、手順、デモ、レッスン ・スポンジ、ホットタオルの取り扱い注意点・手順・デモ・レッスン ・クレンジングふき取りチェック
フェイシャル カウンセリング②	1	・肌質・体質判断、アドバイスを行う カウンセリングの注意点、手順の説明、相モデルで実際に行う
・ポイントクレンジング ・クレンジングマッサージ ・スポンジ ・ホットタオル	10	・クレンジングの手技を理解・覚える ・ポイントクレンジング、クレンジングの注意点、手順、デモ、レッスン ・スポンジ、ホットタオルの取り扱い注意点・手順・デモ・レッスン ・クレンジングふき取りチェック ・確認テスト
・ポイントクレンジング ・クレンジングマッサージ ・フェイシャルマッサージ ・拭き取り ・整肌	16	・クレンジング復習 ・6種類の基本手技を理解と手順を覚える 軽擦法、揉捏法、打法、圧迫、振動法、デコルテの注意点・デモ・レッスン・チェック ・クレンジングのふき取りチェック ・整肌の方法デモ・レッスン・チェック
パック	7	・パックの理解と手順 パック素材の説明 パック塗布の注意点・手順・デモ・レッスン・仕上がりチェック パックふき取り注意点・手順・デモ・レッスン・ふき取りチェック 確認テスト
・ポイントクレンジング ・クレンジングマッサージ ・フェイシャルマッサージ ・カウンセリングバック ・拭き取り ・整肌	8	・流れを理解 カウンセリングシートの記入 ポイントクレンジング～拭き取りまでのタイム取り クレンジングの拭き取りチェック マッサージのタイム取り、手技チェック パックのタイム取り パックの仕上がり、拭き取りチェック 整肌のチェック
検定対策・模擬試験	8	・手順の復習 ・手技の最終チェック ・模擬試験(本番同様の流れ)

具体的内容		
項目	時間	内 容
<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントクレンジング ・クレンジングマッサージ ・フェイシャルマッサージ <ul style="list-style-type: none"> ・パック ・カウンセリング ・拭き取り ・整肌 (サロンレベル) 	22	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンレベルに向けてレッスン ポイントクレンジング→クレンジング→カウンセリング→マッサージ→パック ホットタオル拭き取り、ドレーピング、ターバンの徹底チェック 整肌のチェック 手技の最終チェック ・カウンセリング

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択エステ(ボディ)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	64	22	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ボディに対するエステティックにおける、カウンセリング技術や基本的なボディエステ技術、使用する機器の効果や安全な使用方法を学ぶ。 また、検定対策も授業の中で取り入れている。
授業の到達目標	カウンセリング・化粧品・肌別の対応知識の理解と習得、使用する機器を正しく扱えること・その効果や安全に使用する方法の理解を習得することを目標とする。 検定合格レベルの技術の理解と習得。

具体的内容		
項目	時間	内容
教材確認	3	・教材チェック・名前記入、エステ着・ナースシューズ試着
基礎	3	・エステの仕事の紹介 ・ベッド・ワゴンセッティングの説明 ・タオルの畳み方、ホットタオルの作り方
マッサージ 下肢後面	18	・手技の理解と手順を覚える ドレーピングの注意点・デモ・レッスン・チェック・ボディケアの基本 下肢後面マッサージの注意点、デモ、レッスン、チェック ホットタオル拭取りの注意点・デモ・レッスン・チェック、確認テスト
マッサージ 腰背部・肩・上腕	8	・手技の理解と手順を覚える ホットタオル拭取り、ドレーピング、ターバンの徹底 腰背部・肩・上腕注意点・デモ・レッスン、確認テスト
ボディ カウンセリング①	2	・肌質・体質判断、アドバイスを行う(カウンセリングの注意点、手順、相モデルで実施)
マッサージ 下肢前面	5	・手技の理解と手順を覚える ・下肢前面の注意点・デモ・レッスン・チェック ・ホットタオル拭取り、ドレーピング、ターバンの徹底、確認テスト
マッサージ 上肢・腹部	7	・手技の理解と手順を覚える ・上腕・腹部の注意点・デモ・レッスン・チェック ・ホットタオル拭取り、ドレーピング、ターバンの徹底、確認テスト
マッサージ 全身	6	・手順の復習(下肢後面→腰背部・肩→下肢前面→上腕→腹部のマッサージ) ・ホットタオル拭取り、ドレーピング、ターバンの徹底、チェック
ボディ カウンセリング②	3	・肌質・体質判断、アドバイスを行う(カウンセリングの注意点、手順、相モデルで実施)
検定対策 模擬試験	8	・手順の復習 ・手技の最終チェック ・本番の流れ
マッサージ後面	4	・手順、手技の復習
マッサージ前面	4	・手順、手技の復習
カウンセリングボディ	2	・サロンでのカウンセリング方法の理解
カウンセリング全身マッ サージ(サロンレベル)	13	・これまでの手順手技をサロンレベルに向けてレッスン

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択エステ(脱毛)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	0	3	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	エステティックにおける脱毛技術、知識を脱毛学から手技の技術習得、機器の正しい使用方法等の授業内容から学ぶ。
授業の到達目標	エステティックにおいて重要な、脱毛の知識の理解、ワックス脱毛・光脱毛技術の理解と習得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
美容脱毛	3	美容脱毛学の理解、美容脱毛学実技理論の理解 ワックス脱毛のデモ、例題集実施、解答・解説、確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択エステ(サロン)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実習	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	0	22	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	コース選択エステのサロン実習の授業を行う。コース選択エステで学ぶ技術、カウンセリング力をサロン実習で向上させる。
授業の到達目標	卒業後、就職先にて即戦力として働ける接客力・技術力を身に付けること、店舗の運営全般について理解することを目標とする。

No.	具体的内容	
	項目	内容
サロン授業	6	・サロン実習に必要な知識、技術接客の確認
サロン実習	12	・運営の仕組みの理解、数字への意識 ・お客様への気配り、接客力 ・振り返り、レポート作成等
サロン改善会議	4	・サロンの数字分析 ・成功の共有 ・問題抽出、原因分析、改善方法の決定

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	コース選択ネイル(ネイル理論)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	16	6	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ネイリストとして必要なネイルの知識(歴史、爪の構造、手のマッサージ、色彩理論、ネイル技術)、使用する用具用材、機器の正しい使い方を学ぶ。 また、資格取得の対策も行う。
授業の到達目標	ネイルに関する基礎的な知識、ジェルネイルの基礎知識、使用機器の正しい使い方等について理解することを目標とする。 資格試験に合格するレベルへの到達を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
ネイル理論	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイルの歴史・爪の構造と働き ・皮膚・生理解剖 I・II ・マッサージ理論・ツボ理解 ・病気・消毒 ・化粧品学・色彩理論 ・技術体系・ケア手順 ・復習(確認テスト)
ジェル	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェルネイル概論、用具用材、技術体系、ジェルネイルの衛生管理 ・ジェルネイル材料の基礎理論 ・ジェルネイルの安全な施術とトラブル防止 ・復習、確認テスト
検定対策	6	<ul style="list-style-type: none"> ・復習、確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択ネイル(ケアカラー)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	150	0	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ネイリストとして基本的な技術であるケアカラーについて学ぶ。用具の種類や使用方法、消毒法から爪の形を作るファイリング、爪のケア技術、ポリッシュの塗布技術を相モデル等にて実践的に学ぶことができる。検定の対策も行う。
授業の到達目標	ネイルに関するケアについての技術の習得と理論の理解、ポリッシュ塗布技術習得と理解、検定合格レベルへの到達を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内 容
セッティング・検定概要	6	・セッティング(ラベルシール・名前シール) ・道具(破損・過剰確認、種類・用途・維持方法・注意点) ・検定概要(手順)
マッサージ	1	・マッサージ手順説明 ツボ理解
手指消毒 ファイリング	2	・手指消毒、ファイリング(チップ使用)、道具使用方法、持ち方動かし方 ・爪の形と種類、ラウンドの取り方
ファイリング	6	・ファイリング(ハンド使用)(ハンド、チップカッター使用方法、指の支え方、バリの取り方) ・確認テスト
爪の形の削り方	1	・爪の形の削り方、オーバル・ポイント(ハンド使用)
プッシャー	6	・プッシャー(ハンド使用)【デモ】(使用方法、持ち方、支え方、動かし方) ・手指消毒～ファイリング～プッシャーの流れ
ニッパー	15	・ニッパー(ハンド使用)【デモ】(使用方法、持ち方、支え方、ガーゼの巻き方、動かし方) ・手指消毒～ファイリング～プッシャー～ニッパー～油分除去の流れ実践
ポリッシュ	26	・紙・クリアファイルの使用でレッスン(使用方法、持ち方、ハケの状態、塗る手順) (支え方、スキндаウン、修正、オフ) ・ラインどり、表面 ・確認テスト
アート	8	・アート(紙使用)、描き方(バランス・色彩) ・アート(紙使用)、使用方法(絵具・筆・ガラスボウル・パレット)、筆の動かし方 ・確認テスト(ハンド使用)
ケアカラートータル	41	・ケア復習(種子消毒～ファイリング～プッシャー～ニッパー～油分除去の流れ) ・フィードバック、弱点強化 ・筆記・過去問題 ・相モデル
検定対策	38	ケアカラートータル 検定模擬試験(筆記試験、実技試験(相モデル)) 確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択ネイル(ジェル)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	30	76	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ネイリストとして必要なジェルネイルの技術・理論について学ぶ。ジェルネイル技能検定の初級の対策も行い、用具用材・機器の使用方法から基礎知識技術から学び、モデルに応じたバランスまで考えられるような技術者になれるよう授業を行う。
授業の到達目標	ジェルアートの基礎知識の理解・スムーズな除去方法の理解と技術・色々な筆の使い分け・モデルに応じたバランスがとれる技術の習得を目標とする。 資格試験合格レベルに到達することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
ジェル初級検定	30	<ul style="list-style-type: none"> ・セッティング(ラベルシール) ・道具(破損・過剰確認、種類・用途・維持方法・注意点・使用方法) ・検定概要(手順) ・赤ジェル【デモ】(クリアファイル、相モデル) 持ち方、支え、動かし方、サンディング、ダストオフ、油分除去、ピーコック 除去の仕方 確認テスト ・トータル練習(相モデル) ・検定本番シミュレーション
カラーリング	4	・ジェルカラーリング(クリアファイル、相モデル)
グラデーション	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェルグラデーション(クリアファイル、ハンド、自爪、相モデル) ・トップジェルまで通し ・確認テスト
フレンチ	24	<ul style="list-style-type: none"> ・フレンチ バランス・ライン取り(クリアファイル、ハンド、自爪、相モデル) ・トップジェルまで通し ・確認テスト ・フォームのかけ方(種類、切り方、角度、相モデル)
スカルプチュア	16	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェルスカルプチュア フリーエッジ(クリアファイル、ハンド、自爪) ・ジェルスカルプチュア 削り・仕上げ(自爪、相モデル) ・確認テスト
ジェル中級検定	20	<ul style="list-style-type: none"> ・手順確認 ・本番シミュレーション

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	コース選択ネイル(サロン)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実習	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	
	0	22	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	コース選択ネイルのサロン実習の授業を行う。コース選択ネイルで学ぶ技術、カウンセリング力をサロン実習で向上させる。
授業の到達目標	卒業後、就職先にて即戦力として働ける接客力・技術力を身に付けること、店舗の運営全般について理解することを目標とする。

No.	具体的内容	
	項目	内容
サロン授業	6	・サロン実習に必要な知識、技術接客の確認
サロン実習	12	・運営の仕組みの理解、数字への意識 ・お客様への気配り、接客力 ・振り返り、レポート作成等
サロン改善会議	4	・サロンの数字分析 ・成功の共有 ・問題抽出、原因分析、改善方法の決定

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	マナー	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	
	56	20	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	サービスに対する心構えや顧客心理の理解、応対の技術、言葉遣い、立ち居振る舞いなどを学ぶ。職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくための必要なマナー・スキル・人間力を取得させる。
授業の到達目標	サービス接客検定合格。 卒業後、業界・就職先にて技術だけでなく、接客のプロとして即戦力で活躍できる人材に育成することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間数	内容
サービススタッフの資質	3	サービススタッフに求められる資質
専門知識	3	サービスの現場における行動
一般知識	4	サービス業で使うことわざ・慣用語、季節行事と食べ物・カタカナ用語
対人技能	4	接客用語、敬語の記述問題
実務技能	4	掲示物の書き方・イラスト問題、クレーム対応、社交業務
理論編復習	4	理論編確認テスト実施、解説と解答
実技編復習	4	実技編確認テスト実施、解説と解答
直前対策	4	模擬テスト、解説と解答
面接対策	6	面接の審査基準とポイント、面接の流れ、部分動作の練習 面接シミュレーション
主体性 I	4	定義(物事に進んで取り組む力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
主体性 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
実行力 I	4	定義(目的を設定し確実に行動する力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
実行力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
柔軟性 I	3	定義(意見の違いや立場の違いを理解する力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
柔軟性 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
課題発見力 I	4	定義(現状を分析し目的や課題を明らかにする力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
課題発見力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
ストレスコントロール力 I	4	定義(ストレスの発生源に対処する力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
ストレスコントロール力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。
創造力 I	3	定義(新しい価値を生み出す力)の理解 定義を理解した上での、現状「できていないところ」に気付く
創造力 II	3	今後改善しなければならない事を理解する。 事例をもとに、改善に向け訓練をおこなう。

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	就職	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	
	57	3	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
—	—

授業内容	
授業概要	希望する就職先に入る為の就職活動をする上での対策・マナーの学習はもちろんのこと、自分の将来を考えた上での企業の選定方法や選定する上で気を付けなければならないことを学ぶ。
授業の到達目標	生徒が持っている将来像をはっきりとしたものにさせ、その将来像を目指すにあたっての企業選定や、就職活動をする上での対策やマナー等を習得させ、より良い就職をさせることを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
業界について	6	<ul style="list-style-type: none"> ・美容業界の仕事・職種について ・教員による業界セミナー業界や職種について、メイクエステネイルそれぞれの各専任講師より体験談を話し、職種に対する理解を深める。
就職基礎	6	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の流れ、各コース毎の就職活動スケジュールを説明し、適切な時期に活動ができるようにする。 ・インターンシップ・アルバイトに参加する意義を説明 ・インターンシップ・アルバイトに参加する上でのルールを知り、参加時に備える。 ・キャリアプランニングとは、キャリアプランニングシートを書く
企業研究	11	<ul style="list-style-type: none"> ・企業研究とは ・企業研究の目的・方法 ・OB.OGセミナー、卒業2年以上の卒業生を招聘し【業界の魅力】について講義 ・キャリアプランニングについて、キャリアプランニングシートを書く ※自己分析含む ・マイナビ、リクナビ、サポート説明 ・求人の見方、福利厚生、見るべきポイント ・企業研究シートの作成
書類の書き方	13	<ul style="list-style-type: none"> ・書類の書き方 志望企業を決定し実際に履歴書を作成してみる
面接等対策	19	<ul style="list-style-type: none"> ・面接官の視点とポイント、面接シミュレーション、面接でよくある質問を確認 ・集団面接の模擬面接を実施 ・OBOGセミナー、就職に向けた話をしてもらい、自身の就職活動経験
フォローアップ	5	<ul style="list-style-type: none"> ・内定先の企業紹介のプレゼンテーションを行う(確認テスト) ・卒業前の社会人としての教育

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	選択(1年生研修)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	
	30	0	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	新しく入学してきた生徒に対し、学校生活の基本及びクラスメイト、教員との「絆」づくりをテーマとする。
授業の到達目標	「絆」づくり＝「居場所」づくりを行い、学校生活の楽しさを理解させ退学者低減目標とする

具体的内容		
項目	時間数	内容
自己紹介・教材配布・年間学校スケジュール	6	1人2分で自己紹介を実施 教材の配布、及び使用計画の説明 行事中心に「行事」「検定」「試験」等の目的と到達目標の説明
学校規則・ルール・掃除方法レクチャー	6	学校生活の基本となる、規則・ルールの理解。 接客サービス業内での「掃除」の重要性を指導
業界セミナー・夢シート発表	6	業界の動向、求められる人材などの説明 自身の「夢」のレポート作成・発表
コミュニケーション	6	各グループ毎に、「アクティビティ」を実行。コミュニケーションを深める
挨拶訓練・指導	6	自身の挨拶と、求める挨拶の違いを知る。 目指す「挨拶」の指導→訓練→指導を繰り返す

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。